

# 宮城県林業普及活動情報

2022. 2月号 No. 165

## もくじ

### 各地の林業普及活動情報

P 2 ~ 8

- 「たけのこの出荷制限解除に向けた説明会」の開催 (大河原地方振興事務所)
- 「第2回山の幸販売会」出展支援 (大河原地方振興事務所)
- 竹資源の6次化による活用の取組支援 (大河原地方振興事務所)
- 木質バイオマス発電所への供給を目指し木質ペレットを試作 (仙台地方振興事務所)
- 大崎市野生たらのめ出荷制限解除に関する生産者・直売所説明会 (北部地方振興事務所)
- 森林経営計画の制度説明 (北部地方振興事務所)
- 森林経営計画策定・実施支援 (北部地方振興事務所)
- 栗原市の森林経営管理制度推進の取組 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 「知らなかった！正しい森林計画業務のすすめ方」研修会の実施 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 「第38回一迫林間学校」の開催 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 放射能非破壊式測定機による検査体制の整備打合せを実施 (東部地方振興事務所)
- 登米地域の成長産業化モデルの構築を目指して(東部地方振興事務所 登米地域事務所)
- 森林経営管理制度推進のための打合せ (気仙沼地方振興事務所)
- 宮城県林業研究会連絡協議会第1回役員会及び第66回通常総会開催への支援 (林業技術総合センター)
- 未来の林業を支える林業後継者養成事業の完了確認調査への支援 (林業技術総合センター)
- みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修先進課題研修(スマート林業・林業DX推進講座)の開催 (林業技術総合センター)

## 「たけのこの出荷制限解除に向けた説明会」の開催

大河原地方振興事務所

【3日(木)】

丸森町内3地区において出荷制限が続いているたけのこの出荷制限解除に向け、生産者等を対象に説明会を開催し、今年度の検査結果及び令和4年春からの出荷再開に向けた調整状況や今後の手続きについて説明を行いました。

今後、出荷再開に向け、関係機関と連携しながら生産者を支援していくとともに、安全安心なたけのこを消費者に提供できるよう出荷前検査を徹底してまいります。



【説明会の様子】

## 「第2回山の幸販売会」出展支援

大河原地方振興事務所

【14日(月), 17日(木), 18日(金)】

県庁1階ロビーで開催された「第2回宮城県産山の幸販売会」において、当管内から生産者3団体が出展し、しいたけやたけのこ加工品、「猫をモチーフにしたこけし」等を販売したほか、2団体の炭の置物などの販売支援を行いました。

多くの方に商品を購入いただき仙南の山の幸の魅力を消費者に紹介することができたほか、消費者の意見を聞く良い機会となりました。

今後も、仙南の山の幸の販路拡大に向け、生産者を支援してまいります。



【販売会の様子】

## 竹資源の6次化による活用の取組支援

大河原地方振興事務所

【28日(月)】

NPO法人による竹資源の有効活用に関し次年度の活動内容方針を確認するとともに、地方×都市部コーディネーターを講師に迎え、今後の活動について意見交換を行いました。

活動方針では、竹資源を活用した商品化に加え、活動の広がりにあわせた新規ファンの獲得と既存ファンが継続的に参加する仕組みづくりについて検討しました。

今後も、竹林整備及び竹資源を活用した商品化に向け、関係機関と連携し支援をしていきます。



【意見交換の様子】

## 木質バイオマス発電所への供給を目指し木質ペレットを試作

仙台地方振興事務所

【25日(金)】

木材チップやペレット等を燃料とした「木質バイオマスエネルギー」による発電施設の設置が管内で2箇所計画されています。

この発電施設に、県産の木質燃料を供給するための仕組みづくりを目指し、素材生産者・木質燃料加工業者と発電事業者による協議会を結成し、木質チップのテスト出荷等を行ってきました。

今回は、未利用木質資源である樹皮や枝葉などの燃料としての活用を検討するため、木質チップと樹皮との混合率を変えて、5種類の木質ペレットの試作を行いました。試作ペレットについては成分分析等を行い、発電所で活用できるか事業者側と意見交換等を行う予定です。

当事務所では、今後も県産木質燃料の安定供給の体制整備に向け、協議会の活動を支援していきます。



【樹皮の混合率を変えて試作したペレット】

## 大崎市野生たらのめ出荷制限解除に関する生産者・直売所説明会

北部地方振興事務所

【15日(火), 17日(木)】

平成26年に出荷制限が指示された大崎市産野生たらのめについて、出荷制限解除を目指したモニタリング検査を継続した結果、安全性が確認されたので、令和4年2月9日に出荷制限指示が解除されました。令和4年春の出荷シーズンを前に、大崎市岩出山と田尻を会場に、生産者と直売所に対する説明会を開催しました。安全・安心なたらのめの出荷を実施するため、生産者登録や出荷前検査の実施など、出荷管理体制について説明しました。今後も安全・安心な山の幸を出荷するため、関係者の方々と連携を図ります。



【説明会（岩出山会場）の様子】

## 森林経営計画の制度説明

北部地方振興事務所

【4日(金),10日(木)】

令和4年10月より、森林経営計画における伐採・造林計画の管理や適否判定の確認や管理を認定請求者自身ができるようになりました。

今後は Excel 様式での管理となるため、その使い方を説明しました。

事務所として、様式の操作説明等を行うことで、確実な経営計画の実行管理を推進していきます。



【説明の様子】

## 森林経営計画策定・実施支援

北部地方振興事務所

【25日(金)】

森林経営計画の策定について昨年から検討している林業事業体及びその現場作業を請け負う地元森林組合と計画内容の最後の打合せを行いました。

打合せでは現地を合同で踏査した内容を組み込み、経営計画が策定できる事業量の確保と、補助事業を受けるための事業着手の時期等今後のスケジュールについて情報を共有しました。

この打合せの内容から最終調整を行い、令和4年度から事業を実施する予定です。

今後も事業主体及び請負事業者と連携を図り、効果的な森林整備の推進に努めます。



【森林経営計画打合せの様子】

## 栗原市の森林経営管理制度推進の取組

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【4日(金)】

森林経営管理権集積計画とりまとめのため、森林所有者への説明会（若柳地区）に同席し、説明会を実施する森林組合職員と共に制度説明などを行いました。

説明会へは2日間で40人以上の森林所有者が訪れ、多くの方から計画内容への同意が得られました。

今後は、栗原市が同意された集積計画をとりまとめ、公告を経て森林整備作業を進める予定です。



【森林所有者への計画内容説明状況】

## 「知らなかった！正しい森林計画業務のすすめ方」研修会の実施

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【16日(水)】

管内森林組合職員を対象に「知らなかった！正しい森林計画業務のすすめ方」と題し、伐採届出や保安林伐採などの申請手続等について研修会を開催しました。

研修では、森林経営計画区域内の伐採は事後届となること、同計画区域外の届出においても事後の状況報告が義務づけられていることなどについて説明しました。また、「伐採及び伐採後の造林の届出等の制度に関する市町村事務処理マニュアル（林野庁）」を活用して、違反すると同計画の認定取消や補助金返還もあることなどについても説明しました。

資料として当事務所で作成したオリジナルの手続フロー図や事務処理マニュアルを提供し、森林計画制度の理解を深めていただきました。今後とも栗原市と連携し、適切な運用を指導していく予定です。

なお、今回は「知らなかった！〇〇研修シリーズ」の第2弾として開催しましたが、今後も各事業体の実情に応じたテーマをセレクトして実施していくこととしています。



【森林法の解説の様子】

## 「第38回一迫林間学校」の開催

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【26日(土)】

一迫林業研究会は、林業の普及やPRを目的に「一迫林間学校」を永年継続して実施しており、今回は「木材の伐採・搬出」をテーマに開催し、栗原市内を中心に關心のある一般の方5人が参加しました。

伐採では、共催者の栗駒高原森林組合の作業員が模範伐倒を行い、その技術を見学しました。また、参加者が一迫林業研究会員の指導により、チェーンソーの丸太伐りを体験しました。併せて、当方から、安全講習として、かかり木の処理や切創防護服の着用について説明を行いました。

なお、次回は、地域の伝統的搬出方法であった馬搬による伐採木の運搬の実演が行われる予定です。



【参加者による丸太伐り体験】

## 放射能非破壊式測定機による検査体制の整備打合せを実施

東部地方振興事務所

【28日(月)】

特用林産物の放射性物質検査は、精密検査及び簡易検査により実施していますが、令和4年度以降の検査体制縮小に伴い、簡易検査に用いるシンチレーション検査機器が当所から撤収されることとなりました。

そこで、令和4年度以降の簡易検査体制を整えるため、東北大学所有の非破壊式放射能測定装置を管理している女川魚市場と打合せを行いました。

打合せの結果、①使用にあたり東北大学及び女川町と協定を結ぶ②経費は女川町と調整する③使用に当たり女川漁港と調整を図るの3点が確認できました。

今後は、以上の諸手続を進め、特用林産物の風評被害払拭に向けた継続的な取組みを行います。



【打合せ状況】

## 登米地域の成長産業化モデルの構築を目指して

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【8日(火)】

今年度で取組開始から4年目となる登米地域の成長産業化モデル事業について、これまでの取組状況について関係機関で情報共有するとともに、最終年度となる令和4年度の事業計画の策定に当たって、具体的な成果を見据えた取組内容について検討を行いました。成長産業化地域構想の内容は幅広く、なおかつ取組内容も多岐に亘るため、取組全体の進捗状況を把握するのが困難でしたが、関係機関が集まって議論し、成果や課題について情報共有することができました。

また、事業の費用対効果を念頭に令和4年度の事業計画について取りまとめることができました。



【コロナ禍でも顔を突き合せて議論白熱！】

## 森林経営管理制度推進のための打合せ

気仙沼地方振興事務所

【19日(土)】

気仙沼市で行った森林所有者への意向調査の結果を踏まえ、来月に開催する森林経営管理制度個別説明会での配布資料等について、宮城県市町村森林経営管理サポートセンターとともに検討しました。

説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個別に実施することで合意しました。

今後、延べ6日間の予定で個別説明会を開催することとなり、説明会へはサポートセンターとも連携し、支援を行っていきます。



【市、森組、サポートセンターとの打合せの様子】

## 宮城県林業研究会連絡協議会第1回役員会及び第66回通常総会開催への支援

林業技術総合センター

【4日(金)】

標記協議会が通常総会に先立つ総会資料及び進行要領等を確認するための役員会を開催したことから、事務局として立会しました。

通常総会は、新型コロナウイルス対策を徹底の上で開催され、令和3年度事業実績及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算の各議案が無事に承認されました。

今後も、協議会の円滑な運営に務めます。



【第66回通常総会の様子】

## 未来の林業を支える林業後継者養成事業の完了確認調査への支援

林業技術総合センター

【8日(火)】

宮城県林業研究会連絡協議会が林業研究グループの仙南フォレストクラブ及び津山町林業研究会に助成している標記事業の完了確認調査を当所において実施したので、調査員の結城宮城県林業研究会連絡協議会会長とともに事務局として立会しました。また、調査の結果、両グループの適切な事業実施が確認されました。

今後とも、林業後継者を養成する関係事業の実施を支援します。



【確認調査の様相】

**みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修  
先進課題研修（スマート林業・林業  
D X 推進講座）の開催**

**林業技術総合センター**

**【9日(水)】**

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修  
先進課題研修（スマート林業・林業D X 推  
進講座）第6回をWEBにより開催し、4名の受  
講生にご参加いただきました。今回は、ト  
レーサビリティーにおけるブロックチェー  
ンの活用に向け、システム構築の基本とな  
るフレームワークについて、実例に基づき  
検討を行いました。今後も受講生との意見  
交換を実施し、ニーズに合った研修を展開  
していきます。



**【WEB開催】**